

12月5日(水)12月県議会定例議会始まる(21日までの17日間)。

泉田知事は10月21日(日)投票で三期目当選後初の議会。

提出議案について知事より、今後4年は引き続き「将来への展望を切り開く地域経済の自立」「安心・安全で一人ひとりが大切にされる社会の実現」及び「地方分権、地域主権・財政構造改革の推進」の3つを基本とし、施策を展開していくと説明。

一般会計補正予算総額101億518万3千円の増額補正をはじめ46議案が上程された。主な項目は北陸新幹線開業により関西方面からの誘客に期待し小木・直江津航路は佐渡への玄関口として重要性が高まる為に現状の1日1.5往復から2隻化に向けた運行体制の見直しを検討。県央基幹病院は公設民営を目指し燕労災病院と厚生連三条総合病院の統合を再編案の軸に進める。

また、JR東日本(100株、55万円)及び西日本(100株、35万3千円)の株式を取得。

補正後の予算は1兆3,887億3,134万9千円。

第46回衆議院選挙が昨日の4日に公示されたが議会と重なり活動が制約される。